

- ・ 問題の作成上、文章の一部を省略した部分や、表現・表記を改めた部分がある。
- ・ 字数制限は、句読点や記号を含むものとする。
- ・ 答えはすべて解答用紙に記入すること。

受験番号

□ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

わたしのカラス研究で、最初に知り組んだのが「カラスの食べ物」についてでした。都市のカラスは、人間の捨てた生ゴミを食べています。でも、どんな生ゴミを食べているのでしょうか。それを明らかにするために、ゴミ置き場でくわしく観察をおこない、都市のカラスの食生活を調べることにしました。(1)

観察場所は、東京でも有数のはんか街である銀座でおこないました。銀座には多くの飲食店がのきを<sup>\*1</sup>つらね、たくさんの生ゴミが捨てられます。それをねらって、毎朝たくさんのハシブトガラスがやってくるのです。

カラスがあらわれるのは早朝です。たいてい日の出30分くらい前にやって来ました。私が最初に銀座のカラスを観察したのは、1997年1月2日で、この時は午前5時に現場に行きました。冬の午前5時はまだ真っ暗。暗い道路の交差点近くで、カラスが来るのを(X)待ったことをおぼえています。その日はまず、午前6時15分に最初のカラスの声が聞こえました。そして、その数分後に1羽のカラスがビルのオクジョウに<sup>①</sup>スガタを見せました。それからまもなく、カラスが<sup>②</sup>つぎつぎと西の方向、皇居方面から飛んできました。

カラスたちは、銀座に着くと、まず、<sup>B</sup>ビルのオクジョウなどの高いところに例外なくとまり、すぐにおりようとしません。地上の様子をうかがって安全をたしかめているのです。それから10分くらいすると、今度はオクジョウよりも地面に近い<sup>③</sup>街路灯の上に舞い降ります。目当ては路上に置いてあるゴミなのですが、この<sup>③</sup>ダンカイでもすぐに行こうとはしません。本当に(Y)深い生き物です。

しばらくして安全であることがわかったのか、それともがまんができなくなったのか、一羽がようやく路上に<sup>④</sup>舞いおります。

(Z)、それを見ていた別のカラスがいつせいに<sup>\*2</sup>ゴミ袋をめぐけてワツとおりてくるのです。人気があるゴミ置き場では四十羽ほどが群がり、まさに「黒山の人だかり」ならぬ「黒山のカラスだかり」といった感じとなり、<sup>④</sup>騒然とした<sup>④</sup>雰囲気になります。

カラスが生ゴミを食べたあとは、見るもむざんな状況です。路上にまとめて置かれた袋はぐちゃぐちゃに<sup>④</sup>ヤブれてしまっています。そのまわりの路上は、ゴミがそこらじゅうに散らばり<sup>④</sup>放題です。この状況では、カラスは悪くないと私がいくら言っても、嫌われるのも仕方ないと思いました。(中略)

ところでカラスは、ゴミ袋の中から好きな食べ物をどうやって見つけるのでしょうか。(2) 考えられるのは食べ物の「においと「見た目」の二つです。でも、観察してみると、あまりに<sup>⑤</sup>おいをかいでいるふうには見え、ゴミ袋の前に立ってじつと中を見ているように思えるのです。

そこで、<sup>C</sup>おいで食べ物をさがしているのかどうかを<sup>⑤</sup>タシかめるために、次のような実験をおこないました。

用意したのはカラスの大好物、トリの<sup>⑤</sup>唐揚げにマヨネーズをかけたものです。マヨネーズをかけたのは、よりにおいを強くするためです。人間がかいでみてもとてもよくおいえますから、もし、<sup>⑤</sup>おいでさがしていればすぐに気がつくはず。これを二つの袋に、一方は外から見えるように入れ、もう一方は新聞紙で包んで見えないようにし、袋の口をしばらくしないでゴミ置き場に置い

てみました。(3) においでさがしていれば新聞紙で包んだ唐揚げも気がついて食べ、目でさがしていれば新聞紙の方は気がつかないはず。

結果は、何度やっても新聞紙に包んだ方はまったく気がつかず、見える方だけをつついて食べました。このことから、やはりにおいではなく、目によって食べ物をさがしているといえるようです。(4) また、この新聞紙で包んで生ゴミを見えなくする方法で、カラスの被害を⑥でいっているところがあります。札幌市のある町では、生ゴミは必ず新聞紙で包んでからゴミ袋に入れるルールに変えたところ、<sup>D</sup>カラスのゴミ散らかし被害がなくなりました。カラスの習性をうまく利用したため成功したのです。(5) このようにカラスの習性を知ることが、カラスの被害<sup>ひがい</sup>をふせぐのに一番大切なことです。

→ 出典 さ・え・ら書房 発行 著者 柴田佳秀 「わたしのカラス研究」

\*1 のきをつらね・・・多くの家がならんで建っているようす

\*2 騒然・・・がやがやとさわがしいようす

問一 文中のAそれ は何をさしていますか、本文中の言葉を使って書きなさい。

問二 文中のBビルのオクジョウなどの高いところに例外なくとまり、すぐに降りようとしません の理由を、「から」に続くように本文から二十一字でぬきだしなさい。

問三 文中のC次のような実験をおこないました について、どのような実験をしたのですか。八十～百字でわかりやすく説明しなさい。

問四 文中のDカラスのゴミ散らかし被害 を具体的に説明した部分を本文中から見つけ、最初と最後の五字をぬき出しなさい。

問五 文中のEカラスの習性をうまく利用した について、どのような習性でしょうか。本文中から二十三字でぬき出しなさい。

問六 文中の(X)(Z) に適切な語句をそれぞれから選び、A～エの記号で答えなさい。

- |   |    |          |   |          |   |             |   |          |   |
|---|----|----------|---|----------|---|-------------|---|----------|---|
| X | へア | 心細く思いながら | イ | ワクワクしながら | ウ | ねむけをがまんしながら | エ | 迷惑を感じながら | ～ |
| Z | へア | ところが     | イ | やはり      | ウ | すると         | エ | たとえば     | ～ |

問七 文中の(Y) に二字の熟語をおぎないなさい。

問八 次の二文は本文中の(1)～(5)のどこに入れるのが正しいですか。(1)～(5)の番号で答えなさい。

「そういえば、多くの鳥たちの目は、カラスにかぎらずよく発達していますが、嗅覚はそれほどではありません。実際にカラスの脳を解剖した、宇都宮大学教授の杉田昭栄さんの研究では、においを感じる部分がほとんど発達しておらず、嗅覚はするどくないことがわかっています。」

問九 文中の 線部①～⑥を、漢字にあらためなさい。

□ 次の文章は、一九九四(昭和一九)年ごろの、一人の日本人少女の生活や思いを描いたお話の一部です。後の問いに答えなさい。

八月もおわりに近づいた。父が、やっと満州<sup>まんしゅう</sup>から帰国してきた。わたしと妹は、二学期の始業式に間に合うよう疎開した。神奈川県中郡二宮町という、半農半漁の町である。とりあえず、ふとんと着替えと勉強道具だけ持って、あとの必要なものは少しずつ運ばよということであった。

父と母は、もちろんいつしよに疎開はできない。わたしが妹たちのめんどうをみながら生活することになった。母の知人の紹介

でお世話になることになったこの家でも、ご主人は出征<sup>\*3</sup>して留守で、おばあさんとお嫁さんとお孫さんだけの五人家族だ。食事、せんたくなどは、お嫁さんが全部世話してくれた。お嫁さんは、おシゲさんといって三十歳くらい。お孫さんは、国民学校<sup>\*4</sup>1年生の玲くん、五歳の松恵ちゃん、三歳の正くんの三人。西山さんといって、この町では旧家<sup>\*5</sup>で、おばあさんもお嫁さんも、それはほんとうによく世話してくれた。

麦ごはんだったが、そのころにはめずらしく、三度三度食べられたし、おやつには、サツマイモやラッカセイだの、果物なんかも食べさせてもらった。カイン<sup>①</sup>なので、なんとか魚も食べられ、畑もあって、野菜は家で食べるくらいはつくっていたようである。

当時、疎開者は、みんな食べ物にこまり、親子や親戚<sup>しんせき</sup>であつても、なかなか分けてはもらえず、それは苦しく、みじめな思いの連続だった。わたしたちは、その点とてもしあわせだった。おばあさんもお嫁さんも、大事な子どもをあずかっているという感じ<sup>B</sup>で、わが子（X）にめんどうをみてくれた。

学校でも、疎開っ子のテンコウセイ<sup>②</sup>なのに、クラスのみんなが仲よくしてくれた。担任は若い女の先生で、村沢先生といって、とても明るくきびきびした感じの、はりきった先生だった。

雨が降って、体操<sup>たいそう</sup>の時間がつぶれたりすると、よく「お話し会」というのをやった。わたしは小さいときから本が好きだったので、お話をたくさん知っていた。

あるとき、本所七不思議<sup>ほんじよななふしぎ</sup>のひとつ「おいてけ堀<sup>ほり</sup>」の話をしたことがある。

ところは、お江戸の本所にあつたお話です。ある町人が、ほろ酔い<sup>\*6</sup>機嫌<sup>きげん</sup>で魚釣<sup>うまなつ</sup>りの帰り、少しばかりの獲物<sup>えもの</sup>の入ったびく（釣った魚を入れる容器）をさげて堀割<sup>\*7</sup>のそばを通りますと、どこからともなく『（Y）（Y）』と声がする。その声は一種ドク<sup>③</sup>の、おしつぶしたような声。まわりをぐるーと見るが、だれもない。ききまちがいかないと思っていると、また『（Y）（Y）』と声がする。

町人はもうびっくりして、せっかく釣った魚をびくごとほうりだして、腰<sup>こし</sup>をぬかささんばかりに逃げだした。それからというもの、夜、その堀割近くを人が通ると『（Y）（Y）（Y）』と声がかかるので、だれいうとなく、『おいてけ堀』と名がついたんですってーおしまいなんていうお話をしたり、兄の友だちから教えてもらった、どこか南の国の歌「ジンジロゲヤジンジロゲの歌をみんなに教えて、大カッショウ<sup>④</sup>したりして、戦争中の（Z）を少しでも吹き飛ばそうとした。

わたしと妹たちは疎開者なのに、毎週土曜日の午後、東京の家に帰っていった。朝四時に駅の出札口<sup>\*8</sup>にならび、切符を買わなければならぬ。ふつうの日はなかなか起きられないのに、東京に帰りたいばかりに、妹たちも早起きする。そして、漁師<sup>⑤</sup>の家の友だちから魚を、農家の友だちからは米や野菜を売ってもらい、それを背負<sup>せお</sup>って満員電車に乗って帰るのである。父や母に会いたいばかりに、また、少しでも食糧<sup>しょりょう</sup>を運んであげたいばかりに。

～ 出典 金の星社 発行 作者 高木敏子 「ガラスのうさぎ」 ～

\*1 満州 地名。中国の北東部一帯の呼び名  
 \*2 疎開 空襲や火災などによる被害を少なくするため、都会に集中している住民などが地方に移動すること  
 \*3 出征 軍隊に加わって戦地に行くこと  
 \*4 国民学校 現在の小学校にあたる学校  
 \*5 旧家 久しくその土地に住んできた家  
 \*6 ほろ酔い機嫌 酒に少しよっているようす  
 \*7 堀割 地面をほって水を通した場所。堀  
 \*8 出札口 きつぷを売る窓口

問一 文中のA半農半漁の町 とはどのような町かを説明しなさい。

問二 次の文は、文中のBその点ともしあわせだった についての説明です。(ア)(イ)をそれぞれ三字、六字の本文中の語句でおぎないなさい。

(ア)							

について、

(イ)							

をすることがなかったこと。

問三 文中の(X)をおぎなうのにふさわしい二字熟語を書きなさい。

問四 文中の六か所の(Y)には、すべて同じ本文中の語句が入ります。本文中からぬき出しなさい。

問五 文中のC毎週土曜日の午後、東京の家に帰っていった ときのわたしの気持ちが具体的に説明されている一文を本文からさがし、最初の五字をぬき出しなさい。

問六 文中の(Z)をおぎなうのにふさわしい語句を次から選び、ア～オの記号で答えなさい。

- ア 明るさ      イ さびしさ      ウ ひもじさ      エ 暗さ      オ 悲しさ

問七 文中のDふつうの日はなかなか起きられないのに、東京に帰りたいばかりに、妹たちも早起きする について、あなたがふつうの日はなかなか起きられないのに、早起きするのは、どんな時、どんなことがある時ですか。四十字以内で書きなさい。

問八 文中の 〓 線部①～⑤を、カタカナは漢字に、漢字は読み方にあらためなさい。

三 次の問いに答えなさい。

問一 次の①～⑤の( )に入る漢数字を書きなさい。 【例】 一日(一) 一(善)

- ① 二人( ) 脚( ) 人十色( ) 千客( ) 来( )

- ④ ( ) 面楚歌( ) ( ) 死に一生を得る

問二 次の①～⑤の慣用句・ことわざが完成するように、( )内に入ることばをひらがなで書きなさい。

- ① ( ) の背くらげ      ② 犬も歩けば ( ) に当たる

- ③ ( ) に小判      ④ ころばぬ先の ( )      ⑤ ( ) の上にも三年



受験番号

得点

問一 カラスがどんな生ゴミを食べているかということ

問二 地上の様子をうかがって安全をたしかめているから。

カ	ラ	ス	の	大	好	物	、	ト	リ	の	唐	揚	げ	に	マ	ヨ	ネ	ー	ズ
を	か	け	た	も	の	を	一	方	は	外	か	ら	見	え	る	よ	う	に	袋
に	う	に	し	、	う	袋	一	方	は	新	聞	紙	で	包	ん	で	見	え	な
場	に	置	く	と	い	う	実	験	。口	を	し	ば	ら	な	い	で	ゴ	ミ	置
																			き

100字  
80字

問四 路上にまともく放題です。

問五 ているでおいでではなく、目によって食べ物をさがし

問一・二・四・五 各3点

問三 7点

問六・九 各2点

問六 Xイ Zウ

用心

問八 (4)

① 屋上 ② 姿 ③ 段階 ④ 破 ⑤ 確 ⑥ 防

二

問一 農業と漁業を両方向う家庭が多い町

問一・五 各3点

問四・六・八 各2点

問七 7点

問二 ア 食べ物 イ みじめな思い \*完答 問三 同様

問四 おいてけ

問五 父や母に会

問六 エ

問七

問八 ① 海岸 ② 転校生 ③ 独特 ④ 合唱 ⑤ りょうし

三

問一 ① 三 ② 十 ③ 万 ④ 四 ⑤ 九

問二 ① どんぐり ② ぼう ③ ねこ ④ つえ ⑤ いし

各3点